

ふくおか FUKUOKA 市政だより

令和6(2024)年
2/1
No.1747



博多座4月公演「新生!熱血ブラバン少女。」メインビジュアル



博多座 開場25周年



今号の主な内容	特集 博多座開場25周年 1~2
	市美術館企画展「オチ・オサム展」 3
	給付金についてのお知らせ 4
	能登半島地震の義援金について 5
	「市水道局アプリ」をご利用ください 6
	市営住宅入居者募集(抽選方式) 7
	情報BOX 8~15
	区版 16

※本紙掲載の情報は1月16日時点のものです。

人口 1,645,123人 (前月比389人増) 男=776,404人/女=868,719人	面積 343.47km²
世帯数 873,525世帯 (前月比201世帯増) ※人口と世帯数は令和6年1月1日現在推計	ダムの貯水率 63.50% (1月16日現在)

- 市役所代表電話 ☎711-4111 (市外局番は092)
- 市政に関するご意見・要望・相談 広聴課 ☎711-4067 733-5580
- 福岡市政だよりの配布 毎日メディアサービス ☎0120-359-303

市長からのメッセージ

1月1日に発生した、能登半島地震で亡くなられた方々のご冥福をお祈り致しますとともに、被害を受けられた皆さまに心からお見舞い申し上げます。

福岡市は、被災地への職員派遣をはじめ、市内に避難される皆さまへの支援や義援金の受け付けなどを行っています。今後も、被災地の一日も早い復旧・復興のために尽力してまいります。

平成11(1999)年6月に演劇専用劇場として開場した博多座では、年間を通してさまざまな演目が上演され、これまでに1100万人を超える皆さんが来場しています。今年も豪華な演目がそろいました。25周年を迎える博多座に、ぜひお越しく下さい。

福岡市長 高島宗一郎





博多座25周年記念作品 博多華丸主演

『新生！熱血ブラバン少女。』

1999年6月の開場以来、博多座(博多区下川端町)では年間を通して歌舞伎やミュージカルなど幅広いジャンルの演目が上演され、来場者は1100万人を超えました。博多座25周年記念作品『新生！熱血ブラバン少女。』を紹介します。

精華女子高校吹奏楽部と豪華キャストの共演が再び

2017年3月、博多華丸さんと、福岡が誇る吹奏楽の名門校・精華女子高等学校(博多区住吉四丁目)の吹奏楽部員との共演による舞台『熱血！ブラバン少女。』が博多座で上演されました。華丸さんの堂々たる指揮と吹奏楽部員たちの演奏の見事なハーモニーが感動を呼び、大きな話題となりました。

21日(日)に上演されます。

『あらすじ』
かつて全国大会常連校として名を上げた西北女子学園吹奏楽部は、部員数の減少や練習時間の制限で、今やその面影をなくしつつあった。

【出演者】

この状況を知り、一人の男が立ち上がる。スポーツの世界で数々の結果を残してきた名インストラクター(博多華丸)だ。彼は巧みな言葉と独自のトレーニング方法でやる気を引き出していく。コーチを信じて練習に励む部員たち。そんな矢先、「コーチは音楽に関しては全くの素人

らしい」といううわさが。果たして、吹奏楽部の未来は…？

博多華丸／紅ゆずる／鈴木梨央／森保まどか／上西伶(NMB48)／神田朝香／古川あかり／星野真里／斉藤優(パラシユート部隊)／小林大介(花組芝居)／宇梶剛士／浅野ゆう子
主演の博多華丸さんに、新舞台への意気込みを聞きました。

2015年の『めんたいぴりり博多座版』以来、2年ごとに座長として博多座の舞台に立たせてもらいました。よほど評判が良かったのでしょうか(笑)。

コロナで3年空きましたが、今回で5度目の座長公演です。生の舞台は直接客席から反応が伝わってくるのがいいですね。他都市では「よう来んしゃったね」という感じで優しく迎えてもらえるのですが、福岡のお客さんは厳しいですからね。漫才もそうですが、むしろ福岡での公演が一番緊張します。中でも博多座の公演は、定期的な人間ドックのようなもので(笑)、



博多華丸(はかたはなまる) 1970年生まれ、早良区出身

プレゼント

同公演の観劇券をペアで2組4人に差し上げます。はがきに住所、氏名、年齢と「最近うれしかったこと」を書いて、2月9日(必着)までに広報課「博多座」係(〒810-8620住所不要)へ。当選者に、2月22日ごろ直接招待券をお送りします。
※公演日は指定できません。



精華女子高等学校吹奏楽部
1978年創部。人気・実力ともに全国トップレベルの同部は、音楽の楽しさや感動を伝えようと、吹奏楽コンクールやマーチングコンテストをはじめ、各種イベントや地域行事にも出演



前回公演(2017年)の演奏シーン

身が引き締まる思いです。今回も、精華女子高校吹奏楽部の皆さんが参加してくれま。気分よく演奏してもらおうとがこの作品の一番大事なところなので、女子高生の皆さんを全力で盛り上げたいと思います。

笑いあり、涙ありの感動の舞台です。前回の方が良かったね、とならないように頑張りますので、ぜひご期待ください。劇場で待つとります！

博多座 令和6年の公演予定

日程	演目
2/3~18	「二月花形歌舞伎」
3/8~24	ミュージカル「トツツイー」 主演:山崎育三郎 製作:東宝
3/27~31	KERA CROSS(ケラクロス)第五弾「骨と軽蔑」
4/6~21	博多座25周年記念作品 「新生！熱血ブラバン少女。」
4月・5月	舞台「千と千尋の神隠し」
5/24~26	「CROSS ROAD(クロスロード) ~悪魔のヴァイオリニスト パガニーニ~」
6月	「六月博多座大歌舞伎」
7月・8月	「劇団☆新感線44周年興行・夏秋公演」
8/15~18	ミュージカル「モダン・ミラー」
9月	演目選定中
10月	スーパー歌舞伎 三代猿之助 四十八撰の内「ヤマトタケル」
11月	ミュージカル「モーツァルト！」

今年も豪華演目をお楽しみに
令和6年の博多座は、二月花形歌舞伎をはじめ、さまざまな豪華演目が並びます。左表。博多座にぜひお越しください。

各公演の詳細は、ホームページ「博多座」で検索で確認するか、博多座(☎263・5555)263・3630)にお問い合わせください。

4月6日(土)~21日(日)上演『新生！熱血ブラバン少女。』

●チケット

2月17日(土)午前10時からインターネット販売を開始します。

※小学生未満入場不可。

☎A席12,500(10,000)円、特B席9,500(7,600)円、B席7,500(6,000)円、C席5,500(4,400)円、D席4,500(3,600)円

※かつこ内は平日夜公演限定料金(平日夜割)

残席がある場合、2月18日(日)から博多座電話予約センター(☎263-5555 午前10時~午後5時)および博多座2階広場正面のチケット売り場(午前10時~午後5時)でも販売。

●公演日程

4月	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21(日)
(曜日)	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
11:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
16:00	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

★は平日夜割。4月12日(金)と18日(木)にアフターイベントあり。

※博多座「市民半額観劇会」については本紙12面情報BOXに掲載。



同公演メインビジュアル



特別展 2月2日(金)~3月20日(水・祝) 美少女戦士セーラームーンミュージアム

2022年に作品誕生30周年を迎えた「美少女戦士セーラームーン」の記念展が、市博物館で開催されます。

セーラー戦士たちの名場面を描いた原稿を壁一面に掲示するほか、作者・武内直子氏の新作イラスト、貴重なカラー原画、90年代から最新作までのアニメ資料、グッズ、ミュージカルの衣装等の秘蔵資料などを展示します。

入場に当たっての注意事項など詳細は、ホームページ「セーラームーンミュージアム福岡」で検索を確認を。

【開催概要】

期2月2日(金)~3月20日(水・祝)午前9時30分~午後5時30分(入館は5時まで) 所市博物館2階特別展示室(早良区百道浜三丁目) ☎845-5011 F845-5019 料一般2,000(1,800)円、高大生1,200(1,000)円、小中学生800(600)円 ※かつこ内は前売り料金。なお、2月2日(金)、3日(土)、4日(日)のみ日時指定制。各日各回ごとの数量限定販売のため、完売になる場合あり。休月曜日 ※2月12日(月・休)は開館、翌13日(火)は休館

■問い合わせ先/福岡会場事務局(東映) ☎532-1081 F532-1090(平日午前10時~午後6時。会期中は博物館の開館時間に準ずる)



同展キービジュアル

©Naoko Takeuchi

福岡を拠点に活動した美術家オチ・オサム(1936-2015)の回顧展を、市美術館で3月24日(日)まで開催しています。

1955年の二科展入選を機に頭角を現したオチは、前衛美術グループ「九州派」の中心メンバーとして活動しました。1960年代から70年代にかけて2度渡米し、帰国後は米国で得た着想を基に、幻想的な絵画の制作に取り組みました。

回顧展では、初期の作品から晩年の絵画まで、約180点の作品・資料を公開し、ひたむきに表現し続けたオチのユニークな活動を振り返ります。



福岡市美術館 企画展

3月24日(日)まで開催中

オチ・オサム展

期開催中 3月24日(日)午前9時30分~午後5時30分 ※入館は閉館の30分前まで 所2階近現代美術室A・B 料一般200円、高大生150円 ※中学生以下と市内に住む65歳以上は無料 休月曜日 ※2月12日(月・休)は開館、翌13日(火)は休館



同展チラシ

【記念講演会】

1階ミュージアムホールで次の通り講演会を行います。いずれも無料 申不要 定180人(先着)。

「オチ・オサムの作品『出口ナシ』をめぐる」

東京都現代美術館の藤井亜紀学芸員を講師に招きます。期2

「宇宙に昇った画家を語る」

オチと親交があった深野治氏(元フクニチ新聞記者、『西日本文化』編集長)が語ります。期3月3日(日)午後2時~3時30分

このほか、当館の忠あゆみ学芸員による関連イベントも開催します。詳細はホームページ「福岡市美術館」で確認するか、市美術館(中央区大濠公園) ☎714・6051 F714・6071へ問い合わせを。

来年3月開館「福岡市拠点文化施設」

利用者説明会を実施します

これまで60年にわたり多くの市民に親しまれてきた福岡市民会館(中央区天神五丁目)は来年3月に閉館し、同月、隣接する須崎公園内に文化振興の新たな拠点として「福岡市拠点文化施設」が開館します。

●利用者説明会について 開館後の利用方法等に関する説明会を市民会館練習室Aで開催します(75分程度)。

期▽2月10日(土)午前10時~▽2月12日(月・休)午後2時30分~▽2月22日(木)午後7時~▽2月26日(月)午後2時30分~

参加を希望する場合は、2月1日(木)以降に電話またはメール(Fukuoka-kyoten@jibcom.co.jp)でお申し込みください。 ※先着各40人(参加は1団体2人まで)。



説明会の詳細は、ホームページ「福岡市拠点文化施設 利用者説明会」で検索を確認するか、同施設開業準備室にお問い合わせください。

説明会の詳細は、ホームページ「福岡市拠点文化施設 利用者説明会」で検索を確認するか、同施設開業準備室にお問い合わせください。 ■問い合わせ・申込先/開業準備室 ☎734・5570(平日午前9時30分~午後6時)



福岡アジア美術館 Fukuoka Asian Art Museum ☎263-1100 F263-1105

【連載】アジアのトップアーティストたち

4月9日(火)まで開催の「福岡アジア美術館ベストコレクション展」に展示されるアーティスト10人の作品を紹介します。

第8回 ジャン・シャオガン

かつと目を見開く真っ黄色の顔の男性と、はかなげにたたずむセピア調の人民服の女性。謎めいたこの二人、実は作者とその母です。ただし、母は古い写真を基に娘時代の姿のまま描かれ、家族として隣り合いながら、両者の間には隔たりを感じます。さらに周囲には、天安門が映ったテレビや悲しげなバラ、閉ざされた木箱など、暗喩的な図像が散りばめられ、互いに赤い糸でつながっています。

1958年生まれの作者が青春時代を過ごしたのは、中国全土に文化大革命が吹き荒れた時代。その混乱のさなか、両親が突然逮捕され、作者も地方へ追放されるなど家族は波乱の人生をたどり、ついには作者の母は精神を病んでしまったといひます。



ジャン・シャオガン(張曉剛) 《若い娘としての母と画家》 1993年 油彩 画布

描かれた赤い糸は、親子の血縁関係だけでなく、歴史の中でいや応なく絡み合う国家と個人の間にも示唆しています。作者と母もまた、そのような歴史の荒波に翻弄(ほんろう)された家族の一つであり、だからこそ二人の肖像には、傷や喪失の跡が深く刻まれているのです。

作者は、「血縁」シリーズと名付けられたこのテーマを追求し続け、国際的に高く評価されます。本作はその初期の代表作の一つです。

(学芸員 栗原ふみ)